

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		河川等整備管理事業			担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4141	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり				河川法、土地改良法				
	小項目	4	治水対策の推進								
	主要プロジェクト	0	(未使用)								
事業概要		治水対策として、市管理河川・排水路の改修、維持管理を適正に行うことにより、浸水・湛水被害の軽減および住環境ならびに農地の保全を図る。									
目的 ※何のために		浸水・湛水被害の軽減および住環境ならびに農地の保全を図る。									
対象 ※誰・何を対象に		準用河川・普通河川・排水路									
手段 ※どのように		河川・排水路の改修および修繕を行う。 維持管理として、浚渫工事や雑草刈払い業務等を行う。									
成果 ※何を求めるか		治水対策の強化と適正な流水機能を維持する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)	
		一般会計	8	土木費	3	河川費	1	河川総務費	河川等整備管理事業	135,624,199	
本事業の 主な業務		・準用河川の整備				・排水路の整備					
		・河川台帳管理				・排水路の維持管理					
		・普通河川の維持管理				・災害時の復旧対応					
		・普通河川の整備				・					
		・準用河川の維持管理				・					
		・河川占用事務				・					

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		・維持管理・大堀川設計管理・排水路整備工事(中瀬・細田堀)	・維持管理・河川の整備(大堀川流末部)・排水路整備工事(横瀬・細田堀)	・維持管理・河川の整備(大堀川下流部)排水路整備工事(細田堀)	・維持管理・河川の整備(大堀川下流部)・排水路整備業務委託	・維持管理・河川の整備(大堀川下流部)・排水路整備業務委託	・維持管理・河川の整備(大堀川下流部)・排水路整備業務委託	
事業費	予算(現額)	159,103,000	235,629,000	266,181,991	194,699,400	167,068,000	213,331,000	
	決算額	132,302,884	194,055,259	199,220,935	174,388,682	135,624,199	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	1,240,000	0	900,000	2,760,000
		地方債	0	0	26,400,000	50,700,000	52,300,000	91,800,000
		他特定財源	569,290	566,040	566,040	536,000	431,760	429,000
一般財源		131,733,594	193,489,219	171,014,895	123,152,682	81,992,439	118,342,000	
人件費	従事職員数(人)	3.64	3.64	3.34	3.50	3.50	5.20	
	人件費相当試算※	28,315,560	28,326,480	26,255,740	14,807,520	27,166,703	42,283,010	
総事業費試算		160,618,444	222,381,739	225,476,675	189,196,202	162,790,902	255,614,010	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	河川改修工事延長	目標値	km	0	0.09	0.09	0.15	0.14	0.13
		実績値		0	0.17	0.09	0.07	0.15	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算から算出した工事延長を目標値として設定/当該年度の発注実績						
	実績値の算出式								
活動指標 2	排水路改修工事延長	目標値	km	0.17	0	0.07	0	0	0
		実績値		0.17	0	0.07	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算から算出した工事延長を目標値として設定 / 当該年度の発注実績						
	実績値の算出式								
活動指標 3	河川敷地内雑草刈払い延長 (委託業務による)	目標値	km	14	14	14	14	14	14
		実績値		14	14	14	14	14	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		委託箇所の総延長距離を目標値として設定 / 河川敷地内雑草刈払い距離						
	実績値の算出式								
成果指標 1	市管理河川の苦情・通報件数 (草刈り等除く)	目標値	件数	22	19	20	15	32	23
		実績値		19	20	15	32	23	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績値を目標値として設定 / 当該年度の実績値						
	実績値の算出式								
成果指標 2	排水路の苦情・通報件数	目標値	件	220	223	199	260	306	223
		実績値		223	199	260	306	223	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績値を目標値として設定 / 当該年度の実績値						
	実績値の算出式								
成果指標 3	排水路雑草刈払い発注件数	目標値	件						
		実績値		18	26	21	18	29	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市民からの通報のため、目標値の設定になじまない / 当該年度の発注実績						
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA~Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	河川改修工事、河川敷地内雑草刈払延長については、目標値を達成することができた。 排水路改修工事については、令和3年度の実施予定はなかった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	市管理河川、排水路ともに苦情・通報件数については、目標値を下回ることができた。
			評価者 河川係 松本 拓陽

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	河川、排水路の工事や除草など、現地での作業を前提とした目標がほとんどであり、ICT化は難しい。苦情・要望については、適切に対応を行い、効率的に処理することができた。
			評価者 河川係長 松本 拓陽

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり令和9年度までに大堀川改修工事を完了するため、単年度工事延長の増 ・緊急性や危険性などを比較検討したうえでの苦情・通報に対する着手件数の増
達成状況及び その効果	大堀川の改修工事について、今年度目標延長を達成することができた。 苦情・通報に対する着手についても、適切な維持管理が進んだことにより、昨年度に比べ件数の減少がみられ、改善が進んでいる。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	河川等整備管理事業	担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4141
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		評価の内容説明 前年度の改善点を踏まえ、河川・排水路の改修工事は計画通り進めることができ、河川や排水路に対する苦情通報件数についても減少がみられた。このことから、改善が進んでいると判断できることより、「現状のまま継続」とした。					
<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価者 道路河川課長 今井 吾郎					

上記を実施するための具体的な取組内容は？

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

